

【経営課題3:次世代育成に向けたまちづくり】

【戦略3-1:安心して子育てできる環境づくり】

- ・地域の関係団体・関係機関と連携し区民が安心して子どもを生み、育てられる環境づくりを進めていく。
- ・保育環境の充実に向けて、関係局と連携するとともに既存保育所に働きかけを行う。

◎戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム (どういう状態をめざすのか)	アウトカムの 達成状況	前年度 数値	アウトカムの達成状況 に対する評価結果
・子育て支援事業（つるみっ子ルーム等）の利用者で満足していると答えた人の割合 平成28年度85%以上（事業実施時のアンケートで把握）	93.00%	97%	順調
・子育て世帯の中で、子育てに関する相談窓口の認知度の割合 平成28年度までに70%以上 (子育て事業実施時のアンケートで把握)	74.00%	68%	順調
・保育所受入れ枠等の拡大 平成28年度150人以上 (平成23年度比)	408人	311人	順調

○具体的取組の目標達成状況

【3-1-1 子育て支援の充実】

取組内容	取組実績	評価結果
関係機関等と連携し、待機児童の解消、子育て層の交流の場の設定及び児童虐待防止など子育て支援に取り組む。 ・「愛Loveこどもフェスタ」の開催 1回 ・「子ども安全大会」の開催 1回 ・「つるみっ子ルーム」の用拡大利用率60%以上 ・戸別訪問型児童虐待防止啓発活動の実施 24回 ・児童虐待防止学習会・講演会等の開催 3回 ・若年層を対象にしたデートDVに関する講演会の開催 1回 ・関係局との保育ニーズ検討会議 4回 ・保育環境の充実に向けた働きかけ 21保育所	・「愛Loveこどもフェスタ」の開催 1回 ・「子ども安全大会」の開催 1回 ・「つるみっ子ルームの利用率 99% ・戸別訪問型等児童虐待防止啓発活動の実施 27回 ・児童虐待防止学習会・講演会等の開催 3回 ・若年層を対象にしたデートDVに関する講演会の開催 1回 ・関係局との保育ニーズ検討会議 4回 ・保育環境の充実に向けた働きかけ 21保育所	目標達成 (取組は予定通り進捗)
業績目標	目標達成状況	
事業に参加しやすいと回答した区民の割合60%	事業に参加しやすい（楽しい）と回答した区民の割合90%	
課題	改善策	
・保育所の受入れ枠は増えているが、未入所児が多い状況である。 ・啓発に努めているが、依然として、児童虐待に関する相談等が多い状況である。	・引き続き、関係局への働きかけや連携を行うことで、保育所の入所枠拡大に努める。 ・引き続き、児童虐待防止のために啓発活動に努めるとともに、個別ケースの継続的な支援等に努める。	

【経営課題3：次世代育成に向けたまちづくり】

【戦略3－2：子ども・青少年の健全育成】

青少年健全育成への取組の認知度は高い水準で推移していること、また家庭・学校・地域・関係団体が連携することで、より効果的に事業が進められている。

◎戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム (どういう状態をめざすのか)	アウトカムの 達成状況	前年度 数値	アウトカムの達成状況 に対する評価結果
青少年健全育成の取組みを区民協働により進められていると感じている区民の割合 平成28年度までに 65%以上	72.00%	74%	順調

○具体的取組の目標達成状況

【3－2－1 】

取組内容	取組実績	評価結果
歌やダンス等の活動をしている高校生や青少年グループに、日頃の活動成果を発表する機会を提供するとともに関係機関と連携した非行防止啓発活動等を実施するなど青少年健全育成の取組みを推進する。 ・音楽祭や文化祭の開催 3回 ・青少年健全育成鶴見区民大会の開催 1回 ・こどもの環境ととのえ隊（鶴見緑地公園内夜間巡視）の実施 1回	・高校軽音ライブクリーンプロジェクトの開催 1回 ・鶴見区青少年カーニバルの開催準備 1回 ・鶴見区中学校総合文化祭（きさらぎコンサート）実施 1回 ・鶴見区東日本復興支援チャリティーコンサートへの支援 1回 ・青少年健全育成鶴見区民大会の開催 1回 ・こどもの環境ととのえ隊（鶴見区緑地公園内夜間巡視）の実施 1回	目標達成 (取組は予定通り進捗)
業績目標	目標達成状況	
青少年健全育成としての取組みになっていると回答した参加者の割合 60%	青少年健全育成としての取組みになっていると回答した参加者の割合 78%	
課題	改善策	
保護者等の参画を促す仕組みづくりが必要。	親子など幅広い世代で参加できる機会を取組の中へ設ける。	

【経営課題3:次世代育成に向けたまちづくり】

【戦略3-3:学校と社会を結ぶ】

学校と地域や企業を結び、さまざまな分野の社会経験を、こどもたちが経験することにより青少年健全育成を図る。

◎戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム (どういう状態をめざすのか)	アウトカムの 達成状況	前年度 数値	アウトカムの達成状況 に対する評価結果
「夢・未来創造事業」を通じて、興味・関心が高まったと回答した参加者の割合を平成28年度までに 60%以上	72.00%	—	順調

○具体的取組の目標達成状況

【3-3-1 】

取組内容	取組実績	評価結果
区内企業・経営者・スポーツ選手の方々がもつ知識や経験談を区内小中高生に伝えてもらう。 ・青少年「夢・未来」講座の開催 3回	【出前授業】 ・生花卸売市場による体験授業 7回 ・UNEP・IETC(国際環境技術センター) による授業 (テーマ：国連と環境) 3回 ・新聞社による新聞づくり体験 2回 ・春休みダンス教室 1回 【英語交流事業（課外授業）】 ・夏休みの英語遊び 2回 ・英語でクリスマス 1回 ・英語で遊ぼう 1回	目標達成 (取組は予定通り進捗)
業績目標	目標達成状況	
参加校5校以上	参加校7校	
課題	改善策	
学校とのスケジュールとの調整が難しい	出前授業のメニューを早期に学校へ提示していく。	

【経営課題5:健康で安心して暮らせるまち】

【戦略5-1:住み慣れた地域で人権を尊重し安心して暮らせる地域福祉の推進】

- ・地域包括支援センターや医師会などの関係機関・関係団体と連携し認知症に関する講演会の開催等に取り組み、認知症に対する区民の理解を深める。
- ・地域における高齢者に対する見守り活動や介護事業者と連携し、高齢者虐待の早期発見に努める。
- ・地域自立支援協議会の活動を通じ当事者本人やその家族、関係機関、障がい者団体等の連携を図り、障がい者に対する区民の理解を深める。
- ・区民一人ひとりの人権意識の普及・高揚を図り、地域活動協議会等と連携して、人権尊重のまちづくりを推進する。

◎戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム (どういう状態をめざすのか)	アウトカムの 達成状況	前年度 数値	アウトカムの達成状況 に対する評価結果
高齢者・障がい者にやさしく人権が尊重されているまちになっていると感じている区民の割合：平成28年度までに65%以上	26.50%	—	順調でない



○具体的取組の目標達成状況

【5-1-1 高齢者や障がい者等みんなでささえあう地域づくり】

取組内容	取組実績	評価結果
・地域包括支援センター連絡会・認知症地域連携連絡会による認知症高齢者に関わる講演会の開催 1回 関係機関等と連携した障がい者の自立に向けた支援を行う。 ・「障がい児・者いろいろ相談会」の定期開催 6回 ・障がい者支援関連のシンポジウム等の開催 2回 地域活動協議会等との連携した人権啓発事業を実施する。 ・人権を考えるつどい 1回 ・校下別人権学習会 6回 ・人権問題研修 3回 ・区民まつりにおける啓発 1回 ・人権啓発パネル等による啓発 2回 ・街頭啓発 2回 ・人権相談の実施 随時	・認知症に関する講演会の開催 2回 ・「障がい児・者いろいろ相談会」の開催 5回 ・障がい者支援関連のシンポジウム(防災研修会)開催 1回 ・人権を考えるつどい 1回 ・校下別人権学習会 12回 ・人権問題研修 3回 ・区民まつりにおける啓発 1回 ・人権啓発パネル等による啓発 2回 ・街頭啓発 2回 ・人権相談実施 随時	目標達成 (取組は予定通り進捗)
業績目標 認知症高齢者や障がい者に対する理解を深めた、講演会等参加者の割合：60%以上 人権をキーワードにした取組を区民協働により進められていると感じている区民の割合：60%以上	目標達成状況 認知症高齢者や障がい者に対する理解を深めた、講演会等参加者の割合：96% 人権をキーワードにした取組を区民協働により進められていると感じている区民の割合：72.9%	

課題	改善策
講演会に色々な世代が参加してもらう工夫。	・認知症地域連携事業連絡会で案を練り工夫をこらす。

【経営課題5:健康で安心して暮らせるまち】

【戦略5-2:地域有償ボランティア派遣制度の推進】

地域有償ボランティア派遣制度を効果的に運営できるよう福祉アドバイザーや関係団体との連携を図り、利用者のニーズを把握し制度を定着させる。

◎戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム (どういう状態をめざすのか)	アウトカムの 達成状況	前年度 数値	アウトカムの達成状況 に対する評価結果
地域有償ボランティア利用者：28年度末までに180人以上	119名	—	順調

○具体的取組の目標達成状況

【5-2-1 有償ボランティア派遣制度の定着】

取組内容		取組実績	評価結果
関係機関と連携して地域ニーズを把握し地域有償ボランティア派遣制度の運用を図る。 ・地域有償ボランティアセンター（仮称）設置 1か所	➡	・地域有償ボランティアセンターを区在宅サービスセンター内に設置。 ・区内関係機関と情報交換会等を開催し、制度の周知とニーズの掘り起こし。 ・周知用チラシの配布 区内146か所、2,787枚	撤退基準に達した （目標達成状況が30%未満であれば事業手法を再構築する。）
業績目標		目標達成状況	
有償ボランティア派遣制度を知っている区民の割合60%以上	➡	27%	
課題		改善策	
制度の周知と運営の自立化	➡	介護保険の改正の動向を視野に入れ受託事業者と連携し取りくむ	

【経営課題5:健康で安心して暮らせるまち】

【戦略5-3:健康づくりへの支援】

肥満者率改善のために、健康づくりの2本柱である「栄養・食生活」「運動」に関する知識、情報を提供し、健康づくりが実践できる場を作る施策を地域団体や関係団体と協働して推進する。さらにがん検診や特定健診の受診率アップに取り組んで、区民の健康意識の向上と健康チェックの機会を確保する。

◎戦略の進捗状況とアウトカムの達成状況

アウトカム (どういう状態をめざすのか)	アウトカムの 達成状況	前年度 数値	アウトカムの達成状況 に対する評価結果
健康寿命の延伸：国の平均健康寿命以上	未測定 ※がん検診・特定健診の受診率が高いことから順調であると認識する	—	順調

○具体的取組の目標達成状況

【5-3-1 健康増進意識の向上】

取組内容	取組実績	評価結果
幅広い年齢層に運動習慣の動機づけやより良い食生活習慣を身につける機会として、家族で楽しんでもらえる健康づくりイベントを開催する。 - 健康まつりの開催 1回 - 食育フェスタの開催 1回 - ウォーキング教室の開催 1回	区制40周年を記念し、3つのイベントを同日開催した。	目標達成 (取組は予定通り進捗)
業績目標	目標達成状況	
健康づくり事業に対する満足度：60%	満足度 89%	

課題	改善策

【5-3-2 健(検)診受診率の向上】

取組内容	取組実績	評価結果
特定健診やがん検診の受診率の向上のために、啓発を実施する。	・ 広報車を利用した広報活動 4回 ・ 地域へのきめ細やかな情報提供 5回 ・ 国民健康保険窓口来所者への広報活動 2回	目標達成 (取組は予定通り進捗)
業績目標	目標達成状況	
特定健診受診率：24% 胃がん検診受診率 11% 大腸がん検診受診率 16% 肺がん検診受診率 10% 子宮頸がん検診受診率 29% 乳がん検診受診率 16%	平成26年度未測定 (参考：平成25年度特定健診数値) 21.5% (参考：平成25年がん検診数値) 胃がん検診受診率 9% 大腸がん検診受診率 14.4% 肺がん検診受診率 13.5% 子宮頸がん検診受診率 22.8% 乳がん検診受診率 13.7%	
課題	改善策	